資料５（別紙２）

未来予想図策定を契機とした市民との連携体制の構築について

27年度

職員

庁内の若手職員の研修（意識醸成・視野拡張）

若手職員を中心にまちで活動する市民と意見交換をしながら「あまがさきの未来」を描きました。

あまがさき未来予想図（たたき台）作成

意見交換

市民

まちで活動する市民

発展

継続

28年度上半期

公募市民・事業者

ワークショップの開催（市民との協働）

市制100周年の10月を目処に公募市民や関係団体と「尼崎の未来」について意見交換をしながら、「あまがさき未来予想図」を完成させる。

完成させた「あまがさき未来予想図」は市内の全戸に配布する。

あまがさき未来予想図完成・全戸配布

発展

活用

28年度下半期

未来志向型市民意見交換会

フューチャーセッションの試行実施

「あまがさき未来予想図」策定後も、定期的に尼崎の未来を市民が中心になって語り合う場（フューチャーセッション）の<u>定期的・継続的な実施</u>に向け、検討・試行実施を行う。

発展

公募市民等

後期まちづくり基本計画市民懇話会

本市の最上位の行政計画である「後期まちづくり基本計画策定に係る市民懇話会のメンバーに「あまがさき未来予想図」策定の際のワークショップに参加した市民の代表に、入っていただく。

29年度以降

市民主導型へ